

日	発表時間	分類	口頭発表	会場	演題番号	筆頭演者	演題名	所属機関名
6月4日	13:00～13:50	データベース ・データ解析	一般演題1	第4会場	01-1	今井 俊吾	Decision tree model の副作用発現リスク因子解析への応用可能性に関する研究	北海道大学病院
					01-2	池谷 怜	メタ解析の手法を用いたシルニジピンによる腎保護能の検証	明治薬科大学 薬剤情報解析学教室
					01-3	富田 基郎	処方箋情報とヘモグロビンA1c値をマッチングさせたデータベースの有用性	昭和大学
					01-4	新庄 安宏	多剤併用指標の定量化システムの開発と薬学的介入への応用	公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院
	13:00～13:50	疑義照会	一般演題2	第5会場	02-1	玉木 啓文	薬剤師による疑義照会を紹介する患者向け動画の制作とその評価	NPO 法人 DLM センター
					02-2	石塚 園子	Q&Aサイト「YaQuu(ヤキュー)」によるナレッジ共有の取り組み 第1報	株式会社フォーチュン
					02-3	岩佐 洋之	疑義照会記録データの内容分析:処方変更ありと変更なしの比較検討	調剤薬局ツルハドラッグ函館赤十字病院前店
					02-4	松本 早苗	当院における保険薬局からの疑義照会の動向と検査データ活用の現状	松山赤十字病院 薬剤部
	14:00～14:50	薬剤師業務	一般演題3	第4会場	03-1	岸川 悦子	新薬勉強会の新しい形 -添付文書+αの情報を共有する-	東海大学医学部付属病院
					03-2	橋本 貴尚	薬剤師業務を検証し知見を新たな業務展開につなげる:DI担当者の新たな職能の提案	(公財)仙台市医療センター仙台オープン病院
					03-3	廣井 順子	医薬品情報学について多施設共同教育の取組み 都立関連施設薬剤師会 医薬品情報研究会	東京都立墨東病院
	14:00～14:50	企業の情報活動	一般演題4	第5会場	04-1	笠原 英城	新薬ヒアリング時におけるプロモーションコード遵守について	日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部
04-2					中島 理恵	製薬企業が行う医薬品プロモーション活動の実態とモニタリング制度の確立に向けた課題	日本大学薬学部	
04-3					十河 美香	薬剤師のキャリアや転職に対する不安要因に関するアンケート調査	株)リクルートメディカルキャリア	
6月5日	9:30～10:20	地域医療	一般演題5	第3会場	05-1	平山 匡彦	離島住民へのお薬説明会・相談会の実践 -かかりつけ薬剤師・薬局へのアプローチ-	一般社団法人 長崎県薬剤師会
					05-2	塚本 賢児	保険薬局で応需する処方せんの検査値の有効活用調査	阿蘇中央薬局
					05-3	久保田 史佳	診療所及び薬局における医薬品安全性情報の入手源に関する調査	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
					05-4	堀 里子	国民からの薬局プレアボイドに対する理解を深める上での問題点抽出と対応策の探索	東京大学大学院薬学系研究科
	10:30～11:20	患者情報ツール	一般演題6	第3会場	06-1	桐生 嘉浩	データ自動分析機能を搭載した持参薬鑑別システムの独自開発と利用	医療法人社団M&B Collaboration 北越病院
					06-2	吉田 武人	電子版お薬手帳における服薬支援機能の有効性の確認	鈴鹿医療科学大学薬学部薬学科長南研究室
					06-3	桐生 浩子	各種お薬カレンダーにおける薬剤セット時間の比較	鈴鹿医療科学大学薬学部
					06-4	金井 紀仁	回復期リハビリテーション病棟におけるフォーミュラリー管理の有用性～RA系阻害薬～	医療法人社団青葉会 新座病院
	10:30～11:20	リスク管理 ・患者情報	一般演題7	第4会場	07-1	野田 政充	生物学的製剤使用に関する患者の問題点と提供すべき医薬品情報に関する一考察	株式会社 望星薬局
					07-2	高田 洋平	Systems approachを用いたSGLT2阻害剤の市販直後の安全管理に関するCase study	慶應義塾大学大学院
					07-3	野々内 裕紀	フェニトインの併用によりワルファリンの抗凝固作用が遷延した肝硬変患者の一症例	関西電力病院 薬剤部
	14:10～15:40	厳選	一般演題8 厳選	第1会場	08-1	野口 真里茄	健康食品の摂取に伴う有害事象情報の収集と報告:保険薬局を対象とした調査	静岡県立大学薬学部
					08-2	山本 健	一般消費者に対する医薬品情報の利活用に関する現状調査	昭和薬科大学臨床薬学教育研究センター臨床薬学分野実践薬学部門
					08-3	一澤 里枝	製薬企業における医薬品情報提供の課題	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
					08-4	三木 晶子	消費者の一般用医薬品使用上の問題行動に関する実態調査	東京大学大学院薬学系研究科